



Let's do it now!

2022に向けて誇りを持って All is well.

2020-2021 年度
西日本区理事

古田 裕和

■念願だった部会訪問を初めて行うことができました。

第一声！「部会に来たかったです、ありがとうございました」と思わず声に出してしまいました。

朝晩が冷え込む季節になってきました。1日の寒暖差が大きい日々が続きますが皆様元気にお過ごしでしょうか。

10月を振り返りますと、やはりオンラインでの会議や研修が多かったな、という印象です。

しかしブリテンなどの情報からほとんどのクラブでオンラインやハイブリッドも含めた例会や事業が行われていることを知りました。また、入会式もこのコロナ禍であっても結構行われていることも知りました。対面でのリアルな例会が最高なのは当然ですが今できる最大限のことを各クラブが工夫して行っていることは素晴らしいと感じました。

そんな中、10月3日に瀬戸山陰部会が岡山教会でオンラインも含めた形で行われ、念願だった部会訪問を初めて行うことができました。そのときも第一声で「部会に来たかったです、ありがとうございました」と思わず声に出してしまいましたが、やはりこの普通なら部会が行われている時期にじっとしているのは、なかなか寂しいものです。1日も早くアフターコロナの時代になることを願いたいものです。

10月11日には東西理事連絡会議が行われました。今年の4月に予定されていたのですがコロナによる延期でようやく開催されました。その中で2022年のワイズメンズクラブ設立100周年、東西日本区25周年に向けて各区の動きや次期の区大会の確認などの話題でした。その中で「100周年を記念しての東西交流会」を是非行おう。実現するための今後の進め方などが話し合われました。東西交流会という大きな目標がまた一つできたわけですから、西日本区の皆様の協力もいただきながら、是非素晴らしい交流会を実現させたいと思います。

11月の強調月間の一つは広報です。広報は今期の方針の大きな柱です。いくつかのクラブはFace Bookを活用しているようですがYouTubeの活用となるとまだまだのようです。こういった新たなSNSも大いに研究して活用していきましょう。またマスメディアの活用、クラブや部のホームページの確実な更新もお願いします。

追伸：部会周りがなかなかできませんので、「理事散歩」と称してキャビネットとともに例会などにお邪魔していくことにしました。第1回目は10月13日に熊本ジェーンズクラブの例会にお邪魔してきました。ジェーンズのメンバーメネットの皆様ありがとうございました。またどこかのクラブにお邪魔するかもしれません、そのときはどうかよろしくお願いいたします。

どんな願い事であれ、
あなたがたのうち二人が地上で心を一つにして求めるなら、
わたしの天の父はそれをかなえてくださる。

マタイによる福音書 18:19

聖書の小窓「私たちの中に」

会議用のワークショップ入門書を読んでいます。

その中に、「私たちとは何か」という問いかけがありました。面白かったのは「You and I」と「We」の違いは何かというものでした。どちらも日本語では「私たち」になります。その本によると、「あなたと私」に第三者が加わったときに「我々」となると教えていました。この第三者をいつも感じ、受けとめている重要性が必要だと。まだ読み始めたばかりなので、そのことの意味はこれから学んでいきますが、確かに人間関係や諸活動において、この第三者の視点は確かに重要だと思います。聖書がまず二人でと言われるときも、この第三者の存在があるように思えます。その第三者は神の御心です。つねに神を感じるところで「忠告」「願い」がおこるのです。ワイズ活動の中にもこの「第三者」を感じながら与えられた働きを進めていきましょう。

日本福音ルーテル広島教会(松山教会兼務) 牧師:立野泰博

■新型コロナ対策に係る活性化資金の交付について

新型コロナ(COVID-19)対策特別委員会
委員長 戸所岩雄

「新型コロナ禍でワイズの運動を途絶えさせることがあってはならない」との思いから、当特別委員会では、西日本区の9部・80クラブに対するアンケートに基づき、クラブ活性化等資金の交付申請受付を行ないました。2020年8月末をもって2次受付を締切り、コロナ基金の集積状況も併せ同資金の交付先・金額を下記のとおり決定し執行させて頂きましたので審査経過を含め報告します。

- 1) 年会費補填(一人年96,000円実質分)については4クラブから申請があり、必要に応じてヒアリングを実施したうえで「実質分の8割」を補填することとした。(別表を参照のこと。以下同じ。)
- 2) オンライン補助については8クラブ・1部から申請があったところ、ヒアリングにより九州部の実質は八代クラブであることから部をクラブに読み替え(結果9クラブ)、申請額についても「基準額の24,000円に統一し10割」を補助することとした。
- 3) なお、会員間におけるコミュニケーションの向上は西日本区のすべてのクラブでの重要課題であることから、2)の9クラブ以外の71クラブに対し「コミュニケーション向上資金」として一律10,000円を交付することとした。
- 4) クラブ・部の活性化講習会の開催補助については1クラブから申請があったが、申請件数が過小であることから交付「保留」とし、引き続き検討対象とした。
- 5) YMCA・団体等への支援補助については4クラブから5本の申請があったところ、申請の内容はまちまちであり、支援額もコロナ基金の集積状況(2,794,250円)に比較して多額であることから、交付については「見送り」とした。

新型コロナ対策活性化資金 交付決定一覧

No.	部名	クラブ名	年会費補填	オンライン補助	計	備 考
1	京都部	トップス	¥384,000	¥24,000	408,000	講習会補助は保留
2	京都部	めいふる	¥153,600		153,600	
3	中西部	センテニアル		¥24,000	24,000	
4	九州部	北九州			0	団体支援補助は見送り
5	九州部	熊本水前寺	¥153,600		153,600	
6	京都部	京都ZERO	¥153,600	¥24,000	177,600	
7	九州部	熊本ひがし (1)		¥24,000	24,000	
8	九州部	熊本ひがし (2)			0	団体支援補助は見送り
9	九州部	熊本ひがし (3)			0	団体支援補助は見送り
10	九州部	熊本ジェーンズ		¥24,000	24,000	
11	九州部	八代 (九州部から変更)		¥24,000	24,000	
12	九州部	熊本		¥24,000	24,000	
13	九州部	鹿児島		¥24,000	24,000	
14	六甲部	神戸ポート			0	団体支援補助は見送り
15	九州部	熊本にし		¥24,000	24,000	
16	西日本区	71クラブに一律1万円		¥710,000	710,000	オンライン補助以外のクラブ
合 計			¥844,800	¥926,000	1,770,800	

【追加説明】

2020年9月25日現在コロナ基金の集積金額は2,794,250円です。

上記のクラブ活性化資金交付決定(総額1,770,800円)により支給の結果、

コロナ基金の残金額は1,023,450円となります。

この残金の使途については今後コロナ禍の事態の推移を見据えて、活動資金(新たな支援項目を含む。)として支援を実行すべく新型コロナ 対策特別委員会で引き続き協議・検討を進める所存です。

■YMCAサービス・ユース事業懇談会

YMCA サービス・ユース事業主任 益国 隆人

10月9日（金）、西日本区のYMCAサービス・ユース事業主査および各部部長とオンラインで事業懇談会を行いました。3月に予定されていた次期会長主査研修会がコロナ禍によって中止になったことで、今期は8月からメネット事業を皮切りに順次Zoomを使って各事業懇談会を行っています。

今期のYサの事業主題は「積極的な理解とワイズメンズクラブこそその支援を」と掲げました。ワイズの高齢化やクラブの会員減少に伴ってYMCAとの隔たりが広がっている感もあり、長年知ってるつもりのYMCAのいまを学ぶこと、それにマッチする無理なくできる新しい活動を生みだすことが、楽しいワイズ、価値あるクラブとして続けていけるのではと考えたからです。

ところがコロナ禍によってYMCAの様々な活動や行事が停止、中止になり、皆様の部やクラブのYサ事業の活動も中止せざるを得なかったと存じます。

今回の事業懇談会では、コロナ禍の中でのYMCAやワイズの活動の事例をご紹介しました。

1. StayHomeの子ども向け等のオンライン動画（滋賀YMCA）
2. Facebookでオンラインセミナー告知（YMCAせとうち）
3. YMCAへ手作りマスクと寄付金贈呈（びわこ部）
4. オンライン授業移行や感染防止対策の備品費用、学生生活支援資金など
YMCAへ400万円寄付（六甲部）
5. アルバイト収入を失い困窮する留学生らに米やパンの食糧支援資金を寄付（西中国部）
6. 生活困窮世帯の子ども支援に70万円寄付（熊本クラブ）、アルバイト減収の留学生支援に
25万円寄付（熊本ジェーンズ）
7. ひとり親家庭の子ども対象デイキャンプを企画、YMCAへ運営委託、資金提供、
広報活動（姫路グローバル）

ほとんどがコロナ禍における緊急支援策ではありますが、ワイズのYMCAを支援する精神と実践はこのような環境下においても発揮されていると心強く思った次第です。今後も感染対策がしばらく続くならば従来のままの活動はなかなか困難と思われます。YMCAとの協働事業を支援する西日本区のYサ資金申請についてもご案内しました。ぜひ積極的にご活用いただき、各部やクラブの新しいYサ・ユース事業活動を生み出していただければと思います。

■地域奉仕・環境事業懇談会を Zoomで開催しました。

地域奉仕・環境事業主任 藤好 基子

2020年10月2日(金)に地域奉仕・環境事業懇談会をZoomで開催しました。

お忙しい中、古田理事はじめ新山次期理事もご参加いただき、各部地域奉仕・環境事業主査や部長さんも参加してくださいました。ご存知の通り3月の会長・主査研修会が中止となりましたので、顔を合わせるのが初めての方もいらっしゃいました。

事業主題『一人の力は小さくとも決して無力ではありません』について説明並びに事業方針、事業計画をお伝えしました。昨年度より取り組んでおります「SDGs」について理解いただけるよう説明させていただきました。各部、各クラブでなさっている奉仕活動は「SDGs」の持続可能な開発目標17に入っています。大きな事業、小さな事業の区別はありません。諦めることなく取り組んでください。



国際からのお知らせ

①Week4Waste(YMI ワールド・クリーンアップ・プロジェクト)について

今期の国際会長・ジェイコブ・クリステンセンが今期のプロジェクトとして選んだWeek4Wasteです。奉仕活動団体として自然、子どもたちのためにより良い地球環境を守るため、どのように実施し、だれを支援するかを話し合い、各クラブがゴミ拾いに取り組んでほしいというメッセージです。9月1日から12月9日までは「100日キャンペーン」が実施されていますので、この期間の1週間あるいは数日、ゴミ拾いを実施してください。このキャンペーンはこの期間だけではなく、次期へも繋げていきたいプロジェクトです。

②国際表彰(International Award CS Projects)について

昨年度から始まった国際表彰です。世界すべてのワイズメンズクラブのCS活動の中で、最も優れた活動を行った1クラブと、複数のクラブで行った1グループが表彰されます。応募締め切りは6月15日ですが早めにご用意してください。

事業支援金を申請するクラブ、しないで活動しているクラブもあります。それぞれの活動を尊重いたします。必要としたならばCS支援金、FF支援金を利用し活発に活動をしてください。限られた資源金ですので希望に添えないこともありますが、それぞれの活動が社会に役立つ働きになるよう応援、支援します。

コロナ禍の中ですが、CS活動は皆さまの献金で成り立っております。

CS献金をお忘れなく！

短く限られた中で内容の濃い時間を、皆さまの協力のもとスムーズに開催することが出来ましたこと、感謝申し上げます。

■11月の西日本区強調月間

Public relations Wellnessの強調月間です！

ワイズメンズクラブの活動を広報して、社会認知度を高めましょう。

大阪ワイズメンズクラブが日本で初めて国際協会に加盟した1928年11月10日を記念して、11月10日を東・西日本区では、『ワイズデー』としています。私がワイズメンズクラブに参画した1978年当時は、Difference Day（ディファレンス デー）とも言っていました。他とは違う特別な日という意味合いです。

現在は、その前後の休日にワイズメンズクラブの活動を地域にアピールしながら理解を深めて頂く日として、さまざまなワイズデーの活動が開催されています。この日を利用してYMCAやワイズメンの活動を、より多くの地域の人々やマスメディアを巻き込んで認知してもらうイベントを行い、現在は充分とは言えないワイズメンズクラブの社会的認知度を高め、私達の運動への賛同者・理解者を増やすことから、一緒に活動して頂ける仲間を増やしていく、正にEMCにも繋がるのがPublic relations（広報）です。

一方、Wellnessは、単純に「健康」の定義「肉体的、精神的及び社会的に完全に良好な状態であり、単に疾病又は病弱の存在しないことではない」よりもさらに広い視野でとらえた健康観であり、「前向きに生きようとする心」や「自分に適したライフスタイルの確立」など、より自発的な健康促進に重きを置く概念とされています。今年は年初よりのコロナ禍により、総ての人々が何らかの形で、抑圧までは行かなくとも規制や自制という重苦しい環境の中で生活しています。一日も早い治療薬やワクチンの実用化が望まれます。

このような、積極的に社会に出て活動しようとする「ワイズデー」を始めとするPublic relations（広報）と、現下のコロナ禍でのWellness、相反する状況の中ではありますが、知恵を出し合い出来る事を見つけ出して頂きたいと思います。

私達Y's Men= Wise Menであると信じています。

最後に、業務連絡です。

西日本区HPの「リンク」において、各クラブ様のリンク切れが散見されます。HPや、各種SNSは、重要なPublic relations（広報）のツールです。

年内に、各クラブさんのHPや、各種SNSのURL再調査を行いと思っています。その際は御協力宜しくお願い致します。



広報・情報委員会委員長
大槻 信二（京都センチュリークラブ）

■瀬戸山陰部活動報告

瀬戸山陰部
部長 長寿和子(岡山クラブ)

今年度 瀬戸山陰部のホストクラブとして9月15日(火)19時よりメネットアワー、
10月3日(土)10時より部会を開催しました。両会ともハイブリッドで行いました。



<メネットアワー>

参加者：ZOOM30名 会場(岡山教会)11名

メネットアワーは岡山クラブの9月例会に合わせて行いました。吉本典子メネット事業主任より「メネットのやさしさ、思いやりをワイズ活動に活かそう」「そして各地域のYMCA支援をしよう」と今期事業方針についての話がありました。講演はYMCAせとうちの副総主事の白鳥雅人さんが「コロナ禍でのYMCAの働き」と題し、YMCAせとうちが受けた影響・その状況下での新しい取り組み・ワイズメンスクラブとの協力、今夏のキャンプ支援(バス代・支援品…いつも子供達の笑顔を頭に描きつつ選んでいます)への感謝等々の話がありました。また米子クラブからは長年にわたり続けているDV被害者支援の活動について報告がありました。

<部会>

参加者：ZOOM39名 会場(岡山教会)26名

部会は、二部形式で行なわれました。一部は礼拝、続いて二部では古田裕和理事・新山兼司次期理事挨拶・各クラブ紹介の後「コロナと私たち」の演題で、メネットアワーと部会の配信をお願いしたOMSの佐藤郁也さん、YMCAせとうちの白鳥雅人さん、今期部長の長寿和子さん3名でコロナ禍での各活動の役割や、今後の展望をお話して頂きました。

コロナで一時活動が停止状態に陥っていたYMCAの活動が、配信の力を借りて新しい活動を模索し、また配信の方たちも仕事の方向性が変化していく中で、不自由になったが故に「新しいつながり」が出来て活動に繋がっていく等々、新しいエネルギーを感じることが出来ました。私たちの活動も新しい活動に向かっての一步を踏み出す時なのでしょう。

初めての試みとして配信を利用したメネットアワーと部会でしたが、多くの皆様にご参加頂き感謝しております。

文責/岡山クラブ 書記 高原良子

■新しい仲間をご紹介します

10/1 入会	山口 光一	芦屋クラブ
10/13入会	三宅 周平	京都クラブ
10/17入会	亀山謙四郎	近江八幡クラブ
10/21入会	山本 大貴	京都グローバルクラブ
10/22入会	玉置 達也	京都ウエストクラブ
10/26入会	野口 治之	京都めいぷるクラブ

みなさん!よろしく
お願いします!!



■YMCA報告

今もはなれていてもつながっています

日本のYMCAは、中期計画2017-2020を進めてきました。ブランディングという考え方が、全国のYMCAに浸透し、今では、皆様のところでも新しいYMCAのイメージが定着しているのではないのでしょうか。私たちのYMCAでは、「ブランディング」というものを全国で学び、どう打ち出していくかなど、プロの力をお借りして、学んできました。

10月9日には、ZOOMによる方式で、全国YMCAから200名のスタッフが一堂に会して、改めて、「ブランディング表出研修」を行いました。単に、ロゴを変えたのではなく、中期計画を通して培われてきた、YMCAスピリットも継承し、外に向け伝えていくための研修です。

11月7日には、YMCAのキャンプ100年を記念した、「キャンプ100記念シンポジウム」が、大阪YMCA土佐堀会館にて行われます。六甲山でのキャンプフェスは行われませんが、私たちの心の中の「キャンプ100年への想い」を共有する場となります。機会があれば、のぞいてみてくださいませうか。

また、12月30日から1月2日まで3泊4日の日程で、YMCA東山荘では、第55回年末年始家族パーティ-が計画されています。御殿場、富士山、箱根山麓、アウトレットなど、3密ではない、雄大な自然の中で、今年も過ごせるように、スタッフ一同、感染予防対策はもちろんのこと、素敵な年越しの時間を、皆さんとともに過ごせるようにお待ちしております。

全国のYMCAは、困難の中ではありますが、皆さんとともに、これまでも、そしてこれからも「はなれていてもつながっています」寒くなってまいります。ご自愛ください。



日本 YMCA 同盟
担当主事 光永尚生 (三島)

部会情報

新型コロナウイルスの影響で、開催情報が遅れております。
詳細が整い次第に発信する予定です。

周年例会情報

大阪サウスウイズメンズクラブ

クラブ設立 65 周年記念 / 11 月特別例会

～世界の難民問題を考える～

2020年 11月10日(火)

PM 6 時 30 分～PM 8 時 30 分

ところ／大阪南 YMCA 2 階ライブラリー

申込方法

2020 年 10 月 31 日までに下記にメール
または FAX にてお申し込み下さい。

大阪サウスクラブ／書記 小池 晃

mail :

FAX :

TEL :



西日本区大会情報

Let's do it now

2022に向けて誇りを持って

All is well.

2021年 6月5日(土)／6日(日)

ウイズメンズクラブ 国際協会

第24回西日本区大会

大会会場 / 懇親会 : ウェステイン都ホテル京都



理事事務局から

各クラブ、各部などで西日本区内に広く周知したい情報等があれば、
書記(安井) および理事事務局長(高倉) までお知らせください。
安井▶ 高倉▶

